

令和7年度 国有林モニターアンケート結果



令和8年3月

中部森林管理局

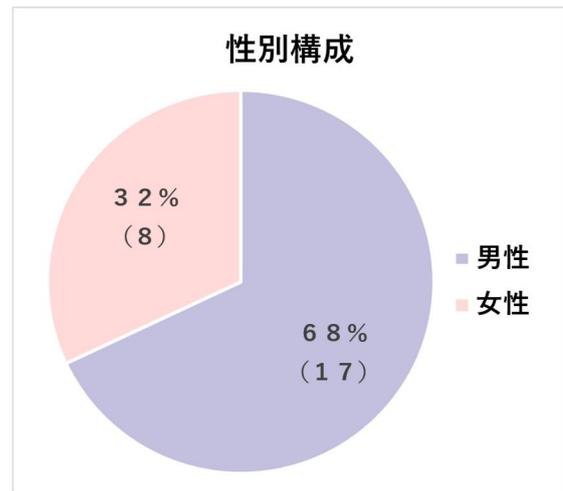
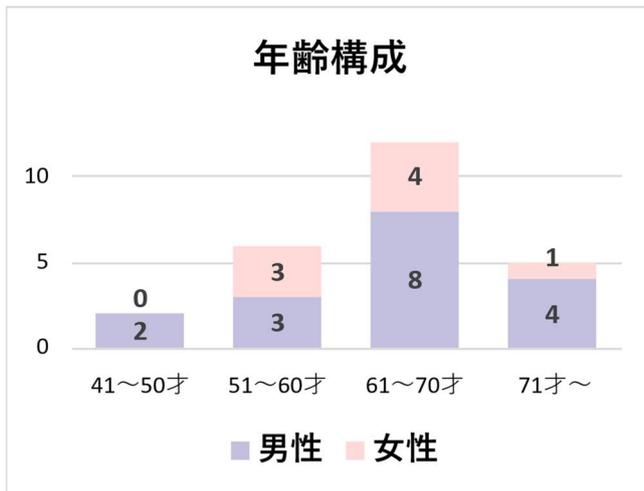
はじめに

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から募り、国有林野事業についての理解を深めていただくのと同時に幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」としてふさわしい国有林野の管理を行うことを目的としています。

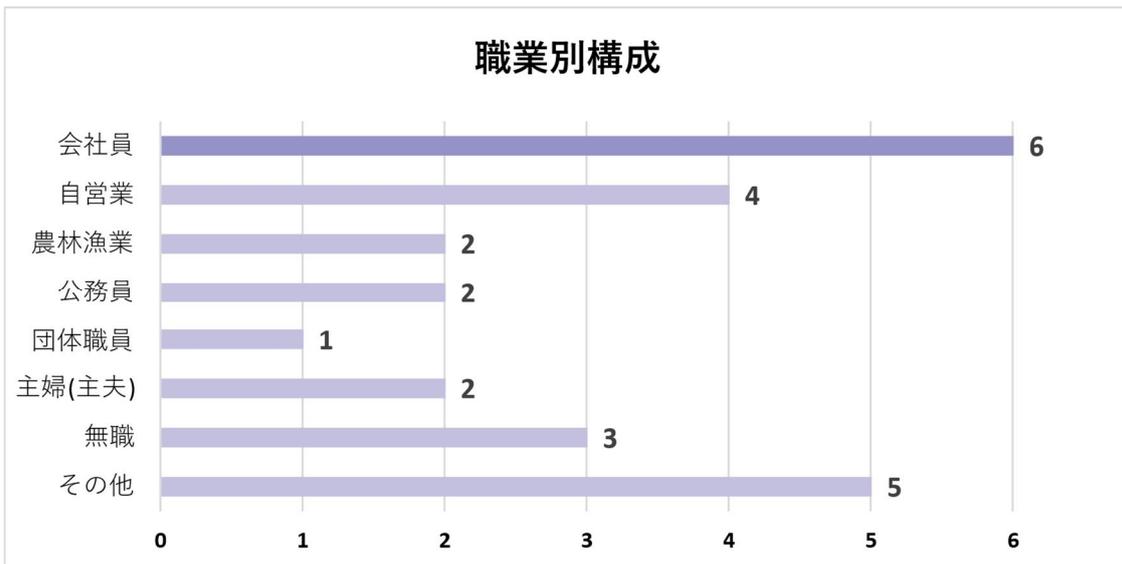
令和6年度から2年の任期でお願いしました国有林モニターの皆様に国有林モニターアンケートを実施し、25名中19名から回答をいただきましたので、その結果について取りまとめました。なお、自由記述の理由、意見につきましては、一部整理をして掲載しております。

◎国有林モニターの構成

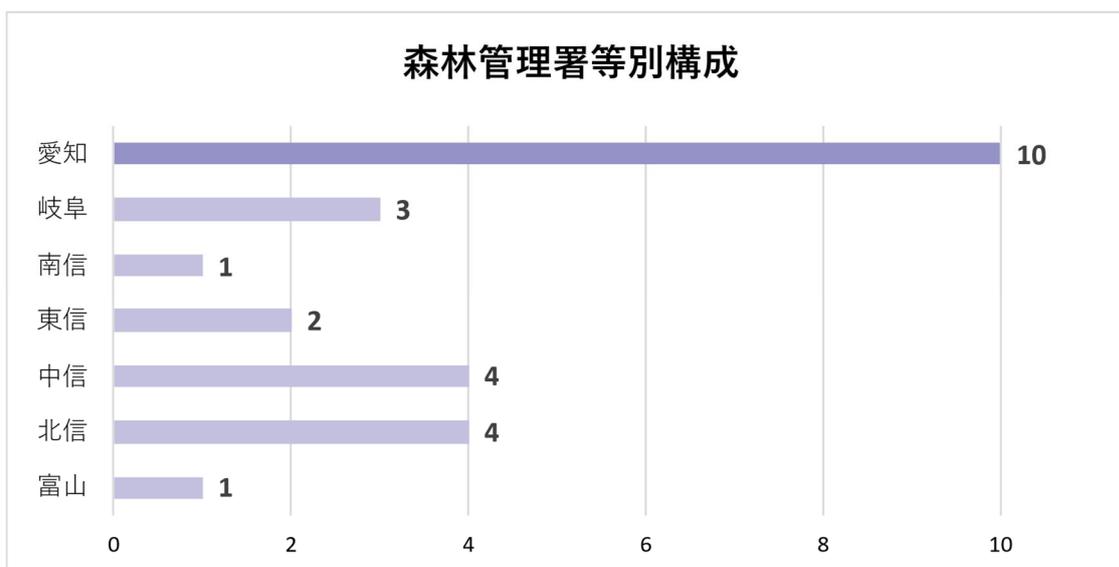
(1) 年齢・性別



(2) 職業

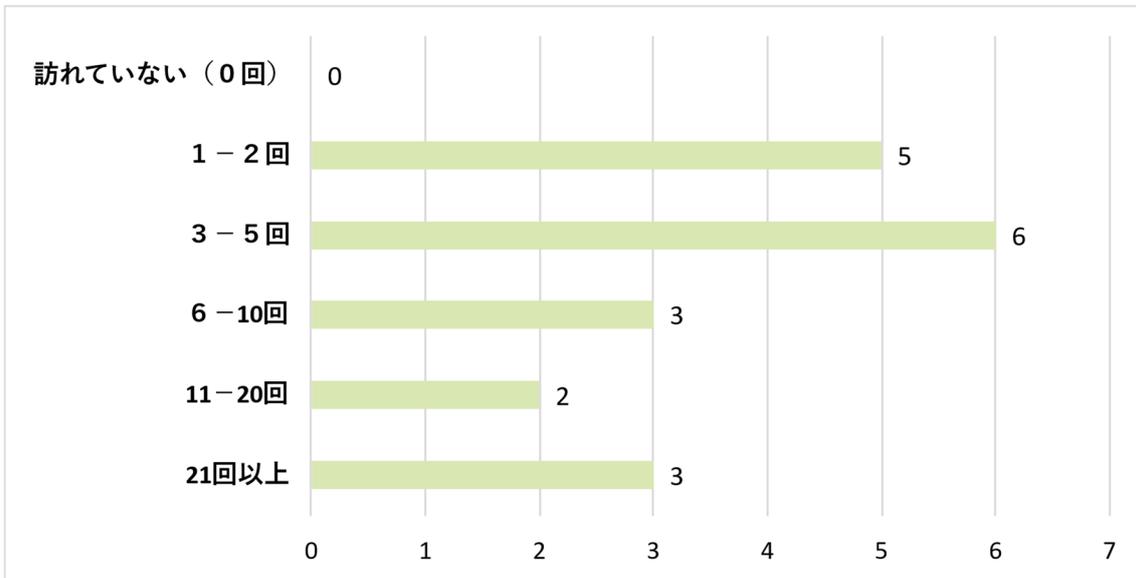


(3) 森林管理署等

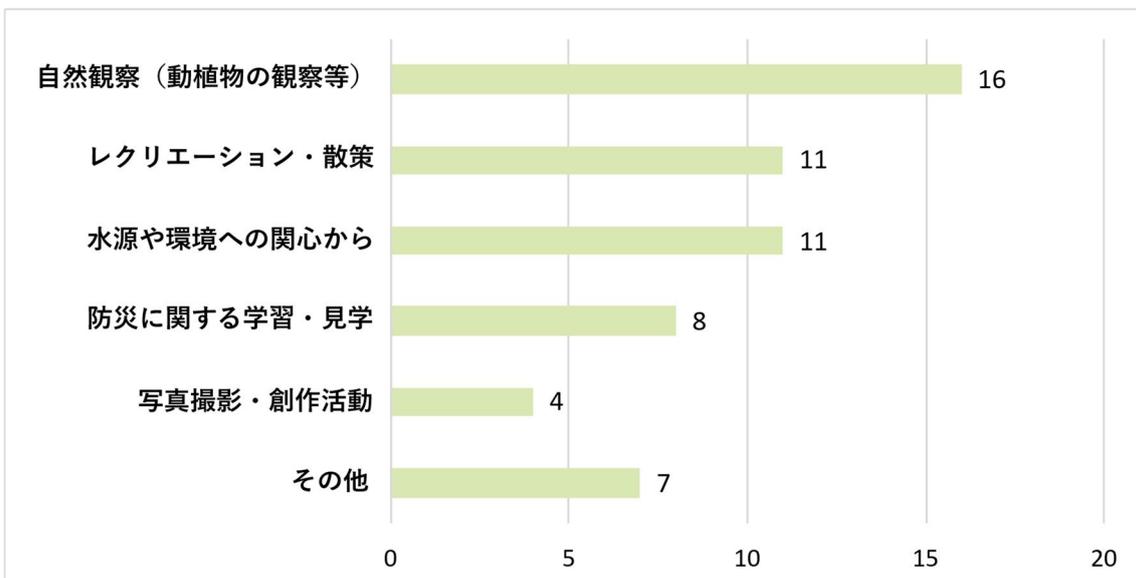


1. 森林全般への関心・利用状況について

1-1. この1年間で、森林を訪れた回数についてお伺いします。



1-2. 森林を訪れる主な目的について、当てはまるものを3つお選びください。



（その他：キノコや山菜採り・森林観光・森林浴・キャンプ・仕事 等）

1-3. 森林について、特に興味をお持ちの点や重要とお考えの点をご記入ください。

（主な意見）

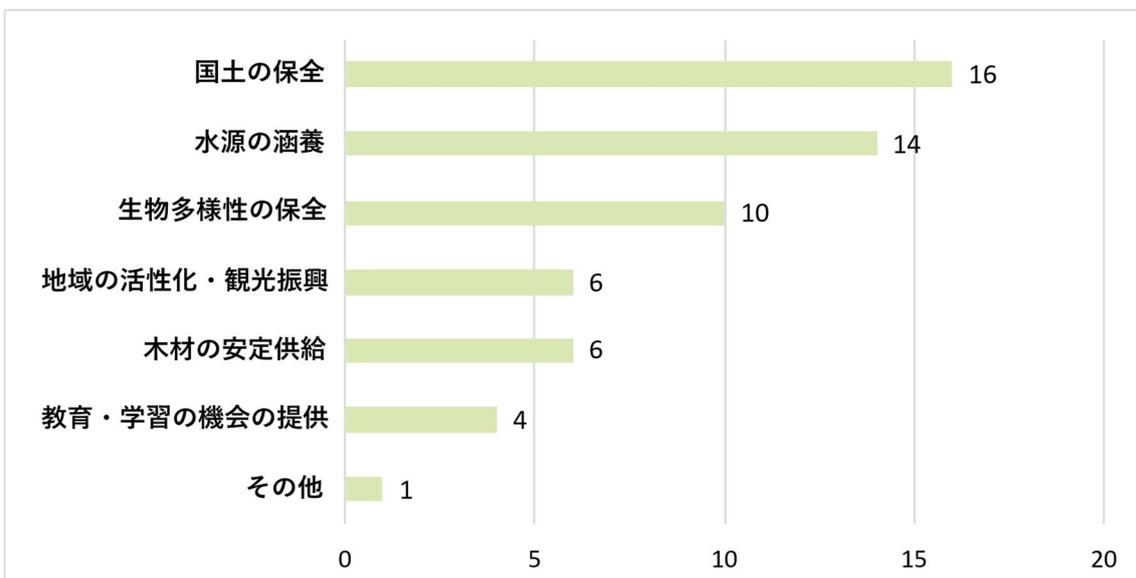
- 私の住む地域のすぐそばに山があり、昔は焚物をとりに行ったそうです。生活に密着していたのでしよう。でも今は伐採した樹がそのままにしてあるのを見ると悲しくなります。
- 森林の保全是、林業にとどまらず、農業や漁業の事業継続に深くかかわっていると考えます。さらに、森林の保全是、数十年のスパンで政策的に行う事が重要です。だからこそ、林業への、より多くの市

民の理解と寄り添う活動が求められます。

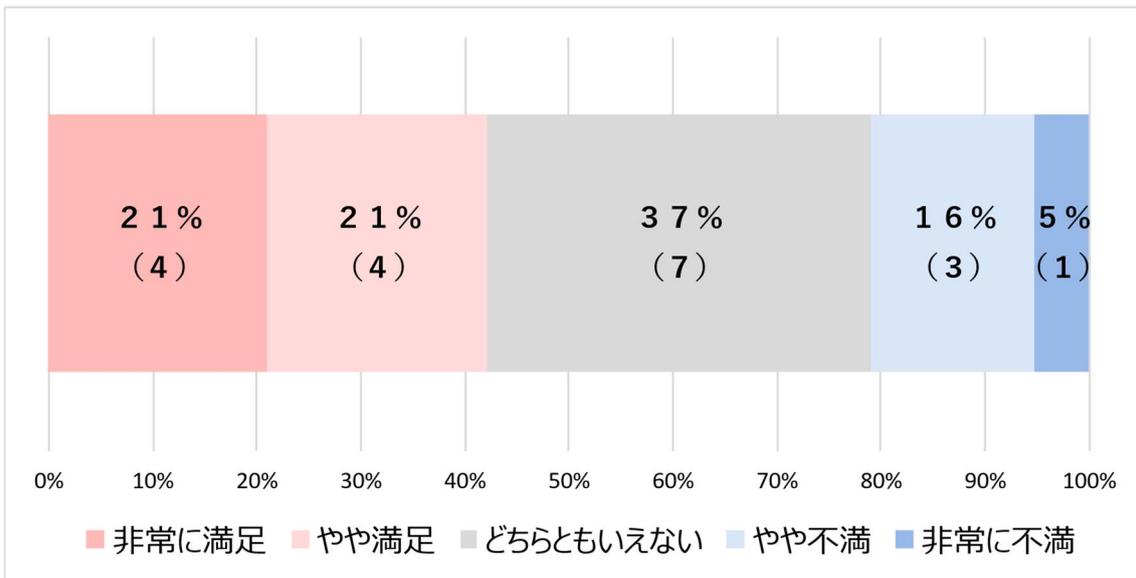
- 管理されていない又は出来なくて、下草も生えない森林がみうけられます。大雨など降ると保水力がなく洪水に繋がることが心配です。子供達が里山等で自然に触れる機会がたくさんあれば良いと思います。企業研修等で森林の手入れをしてもらう働きかけ、企画ができれば良いと思います。
- 川との関係・広葉樹と針葉樹
- その森の特徴、主に植生やきのこを観察すること。
- 巨樹や老樹をみると自然への畏敬や安らぎを感じ、日頃、見る機会を旅行の行程にくみこもうと努力しています。建築物などの用材、あるいは端材などの燃料としての利用はまさに SDGs に適合し、植林、伐採などの循環に興味を持っており、営林行政に注目しております。
- 里山の整備が遅れている。森林の整備を推し進める施策が必要と思う。
- 豊田に引っ越ししてきて初めて、桜の咲く明治用水水源頭首工を見て水の美しさに感銘を受け、矢作ダムまで行き周りの森林との融和にこころ打たれてから森林の人をつつみこむ温かさに、疲れると森林浴をするようになった。
- 興味を持っている点
 - ・自然の地形に無理の掛からない防災(無理な切土や盛土、野生動物生息区の破壊でない)方法
 - ・質の良い木の育成区域が雑木林の様にならないようにする方法
- 重要と考えている点
 - ・野生動物との平和的棲み分け
 - ・世界に稀に見る素晴らしい水を生む山林を守る事 (外国資本による山林の買収、太陽光パネル、風力の設置の全て、間伐の人手と技術の促進)
- 森林の持つ役割はたくさんあるが、最大限生かして、また新たな創意を加えて、森林を保護し、活用していくようにしたい。二酸化炭素の吸収と温暖化阻止、土砂崩れや自然災害の予防、生き物の生活基盤であり人間にとっても道具や癒しへの効果期待等よさが多い。

2. 国有林野事業への期待・評価について

2-1. 国有林野事業に期待する成果を3つお選びください。



2-2. 現在の国有林野事業の取組を、総合的にどのように評価されますか（5段階評価）。



2-3. 国有林野事業の取組のうち「良い」と感じている点についてご記入ください。

(主な意見)

- 花粉症対策としてのスギ人工林の主伐・再造林を促進し、無花粉スギ等への転換を進める取り組み。
- 治水管理、間伐等森林管理、憩いの場としての森林整備
- 植林・間伐
- 枯れ木の伐採
- 式年遷宮事業のものを観光ツアーしている取り組みは、この地固有の特別感があり大変興味深かった。いろいろ学びもでき満足できるモニターツアーだった。当地に中部・北陸地域には森林にまつわる”ここだけの特別感”がある素材が眠っているのでは考えている。注目度の深める点でも観光的な取り組みを継続していただきたい。
- 国産材のPR活動や自然災害の予防
- モニター会議で行った治山工事。間近で見たのは初めてで、こういう努力があつてこそ安全だと思った。
- ダム、堰堤など防災事業における周辺環境に調和した景観づくり
- 国土保全のため多様な方法で治山事業を行っていること。
- 地味ではありますが、活動内容を広報誌などで定期的に発信している事。
- 様々なイベントを行っていて、森林の良さや可能性を発信している。
- 最近をよく手入れされているのを感じます。

2-4. 今後、改善してほしいと感じている点についてご記入ください。

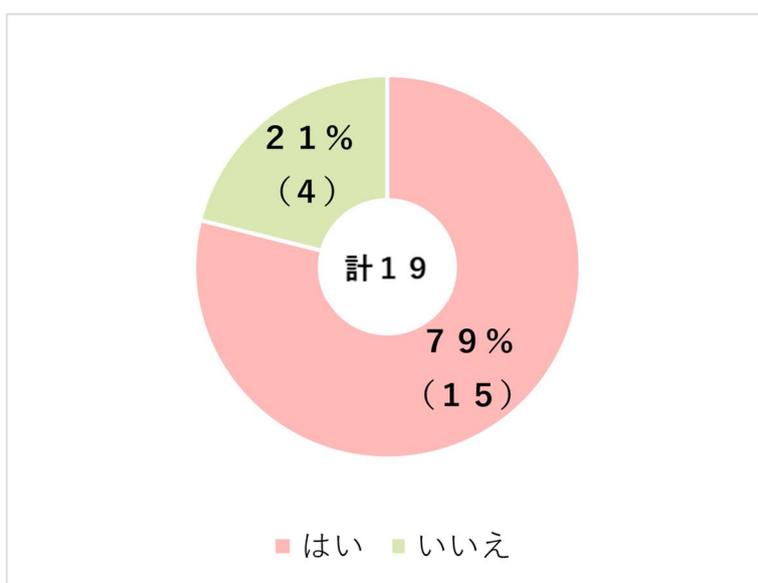
(主な意見)

- もっと一般人に身近な存在にして欲しい。
- 森林環境税及び森林環境譲与税の総括を市民参加で行い、今後の取り組みを見直すべき。

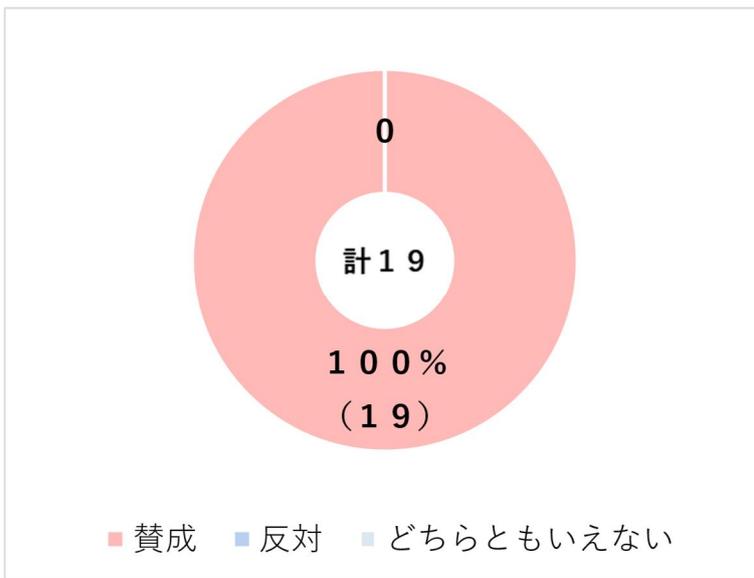
- 森林資源の多面的活用の普及、実施と提案。例えば、国産材木の積極的な活用・木材を活用したクラフト・森林セラピー・気軽に出かけられるリラクゼーションの森・木や葉から精油抽出活用などなど。
- 間伐材の有効利用
- 金華山の枯損木
- 防災工作物見学会を実施してほしい。
- 接点のない方々への情報提供
- 大学生以下の若い層が参加できえる環境（モニターツアーを土日に催行するとか？）があってもいいのかなと感じた。
- 国有林野事業をさらに PR し、子供たちにも接する機会を増やしてほしい。
- このまま安全を守ってくださればそれで満足です。
- 中部の森林などの広報誌は、内容が多岐にわたり大変興味深い記事が多く、モニターをきっかけにその存在を初めて知りました。これらの内容が中学生や高校生に自然と目にはいるよう図書館などに配布するなどの方法はとれないものであろうか。
- 国有林野事業を展開する先が限られているため、もっと広く一般の方にも情報が行くようにした方が良い。
- もっと広報活動を行い、国有林野事業のことを理解してもらうようにしてほしい。
- モニター制度はなくならないでほしい。
- 山林が隣接している自治体と国の方向性の意思疎通をして売買や防災などの管理をしてほしい。森林管理や保全については、管理局退職者の方々が企業や第三団体を立ち上げて窓口となり、一般人も採用し、間伐や間伐で出た木材などを販売したり製品化したり輸出するなど国が管理しきれない分野を民間企業ならではの自由に早く市場に出す環境を作ることも考えて頂けたらと思う。現代は自然の中で子育てし、山で働きたい方がとても沢山います。

3. 木材利用に対する意識について

3-1. 近年、大型建築物や公共施設における木材利用（木造化・木質化）が進んできたと感じますか。



3-2. 建築物や各種製品への木材利用の推進について、どのようにお考えですか。

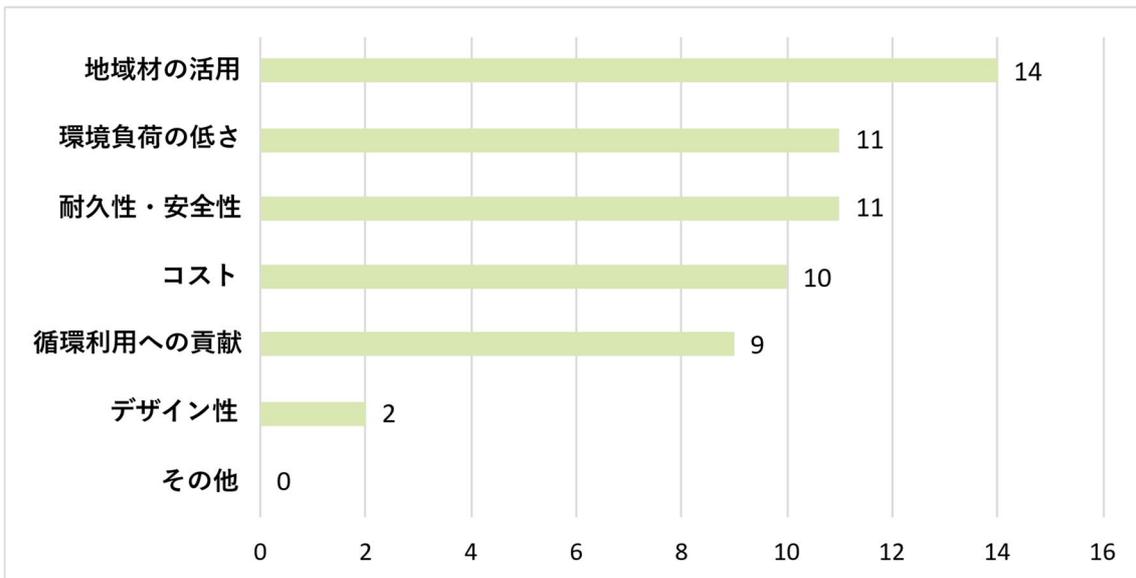


3-3. 木材利用の推進にあたって、メリットや懸念点等をご記入ください。

(主な意見)

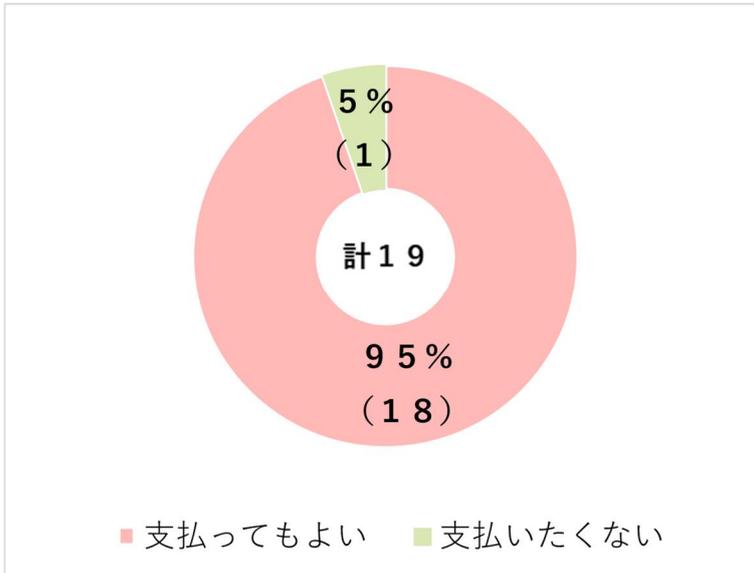
- 木材は自然から生まれているものであるため、それを有効活用することは、生きていくうえでの重要であると考えます。
- 自然に還る素材であるから。また、環境負荷低減のために、できる限り国産材の利用促進につなげていただきたい。
- 例えばヒノキ造りだと固定資産税が高くなるが壊すときはコストを低く抑えらるるか。
- 木の雰囲気の良い感じが感じられるから。
- 暖かさを感じる。
- 例えば、「適材適所」「人材」という言葉からも推察できるとおり、日本人は古来から木材と深くかかわってきました。今後も木材との関わりを継続して行ってほしい。
- 大阪万博での大屋根リングは、木材の温かさと技術の緻密さをアピールできたと思う。木造住宅は木の香りが人を癒してくれるのでメリットがあると思う。
- 防火性能などの向上により高層ビルにも木材利用が始まり、林業の振興の観点から大いに期待が持てます。一方、住宅分野では外材を使用したプレハブメーカーが地方へも拡大し、このため、地元の工務店が地域材を利用した実績が減少傾向にあり危惧しております。特に、教育施設などには、積極的に内装材などに国産材を使用できる制度設計が必要であると考えております。
- 木材利用のメリットは、カーボンニュートラル。懸念としては、維持管理とコスト高。
- なごや東山の森にある里山の家の中は木をたくさん使っていてとても落ち着く。心の疲れやすい昨今、落ち着く木材や木の香りが大切だという思いから。
- 肌に触れた感触がいい。見栄え。

3-4. 木材利用を進めるにあたり、特に重視すべき点を3つお選びください。



4. 「森林サービス産業」について

4-1. 登山や森林浴の際、歩道などの管理費として料金を支払うことについて、どちらの考えに近いですか。



4-2. 支払いたくないと考える理由について具体的にご記入ください。

○他の税金を使えませんか。

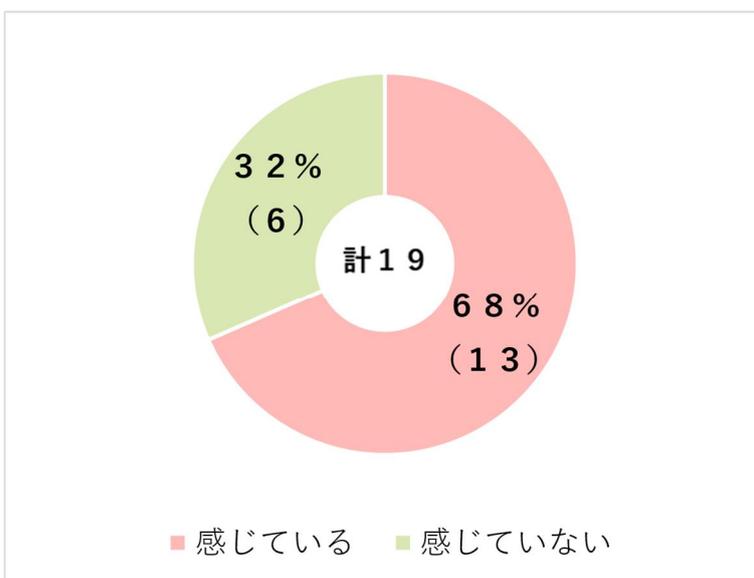
4-3. 「森林サービス産業」を発展させるために必要と考える工夫や、体験してみたいサービスについてご記入ください。

(主な意見)

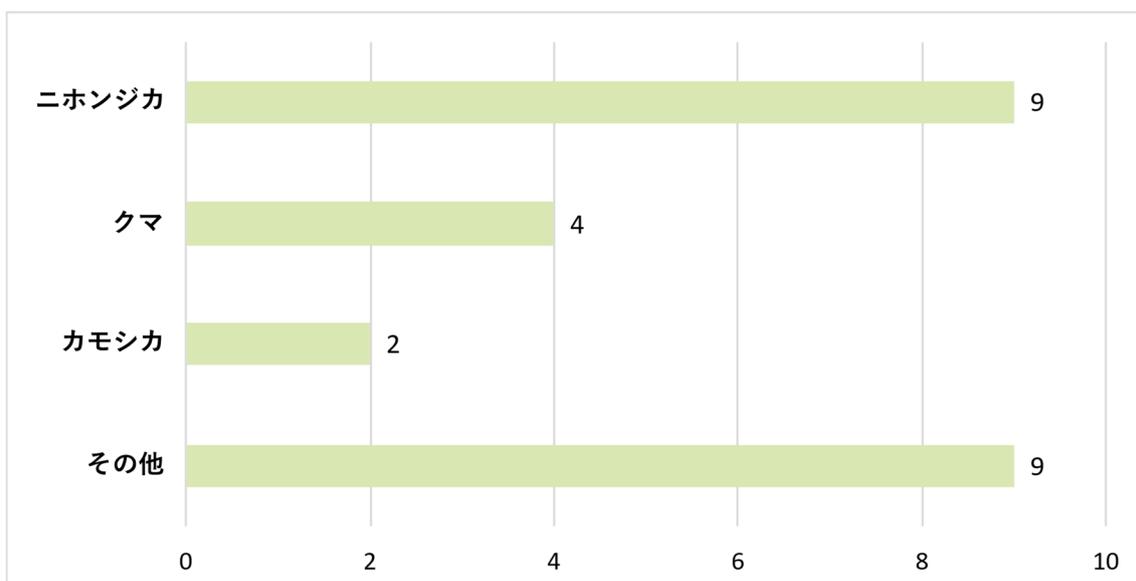
- 北海道野付漁協などで取り組んでいる、森と海を豊かにする取り組みの体験交流を推進してはいかがでしょうか。
- 気軽に遊べる、宿泊できる森林里山整備、身近な木材加工。椅子、机、まな板、表札など。きのこ生産や山菜の生産収穫と野外調理体験。コマ打ち、収穫体験、ピザなどの調理。
- 木製漆器の新興 木製遊具の開発
- 枝打ち体験
- 地形地質と関連した森林見学会
- 免許はないが、チェーンソーを使用し木材の伐採を経験してみたい。
- 自分に小さい子がいたら、体験させてみたいのはかんなで木材削り、火起こしなど木材に特化したキャンプ。木の感触を覚えさせたい。歳行った今なら、檜風呂。かんなくずで・・・
- サービスの形態として森林だけに特化するのではなく、例えば星空観察、溪流釣り、炭焼き体験、バーベキュー、アスレチックスなどと有機的に結びつけ、魅力をアップする工夫も必要なのではないでしょうか。
- 森林サービス産業を立ち上げるにあたっての国の補助が必要。体験してみたいサービスは、ネイチャーゲーム。
- 体験してみたいサービス、森林浴、ヨガ、睡眠の質改善プログラム
- 首都圏(大都市)から、車や電車で片道 90 分前後で行ける森林に、長期滞在、もしくはそこから出勤もできる「全木造のオシャレな国民宿舎」を設ける。冒険、体験でもない「時間」という森林サービスです。

5. 獣害対策について

5-1. 昔と比べて、近年、あなたの居住地でクマやニホンジカ等の野生生物を見かける回数が増えたと感じていますか。

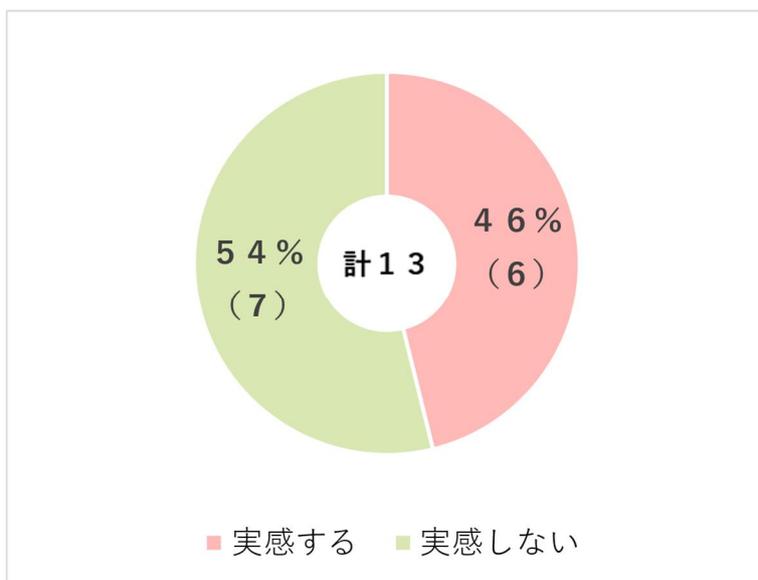


5-2. 昔と比べて、近年あなたの居住地で多く見かけるようになった野生生物を選択してください。



(その他：サル・イノシシ・カモシカ・タヌキ・ヌートリア 等)

5-3. 全国的に住宅地でのクマの出没が報告されています。あなたの身近でもクマが増えていると実感することはありますか。



5-4. どのようなことでクマが増えてきたと実感したのか、具体的にお聞かせください。

(主な意見)

- 絶対数の増加（狩猟圧の低下）が最も大きな理由だと思います。
- 今までクマがでてこなかった生活圏までしばしば出現するようになった。
- 実施の目撃情報が増えている。地域の広報や新聞などに掲載増加。

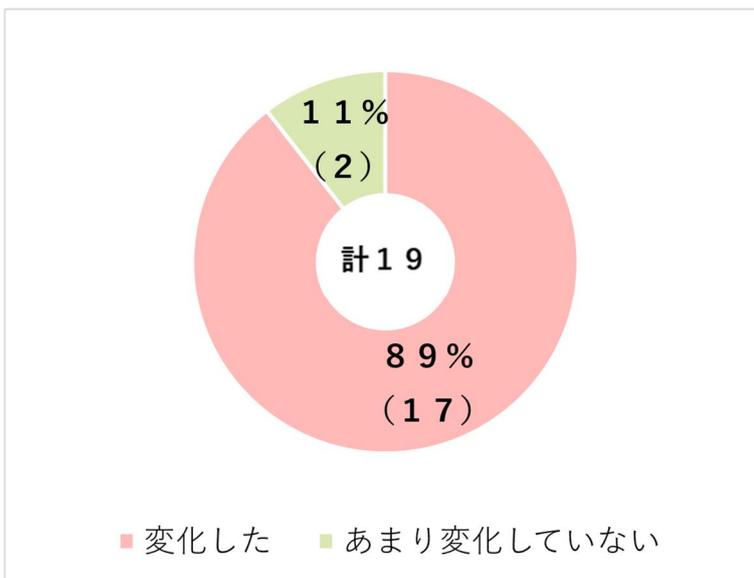
5-5. 獣害被害対策について、国有林（林野庁）において重点的に取り組んでほしい対策や、対象とすべき野生動物等について、ご意見をご記入ください。

（主な意見）

- 安全と保護のバランスをもっとアピールすべき。
- 森の動物の餌となる、樹木の管理や植林をお願いします。
- 個体数の減少、鳥獣害防止の方法。例えば植えた苗木の鹿被害の軽減対策、被害に遭わない植物、品種の提案。
- 柵や囲いの設置、吹き矢等による捕獲方法の検討
- 巡回警備
- ニホンジカ対策が急務だと思います。元々ニホンジカは生息していなかった場所に、どんどん生息域を拡大し、貴重な植生を破壊しています。地球温暖化による環境変化よりも、状況は深刻だと思います。
- 有害駆除数を増やしてほしい。
- 里山を整備して入ってこないようにすること。
- 山を管理する財産区に入っており、定期的に山を見回りにっているが、以前よりは若木は樹皮を食べられている事例が多くなった。幹にサヤをまく方法が多く見られますがよりよい方策の検討が望まれます。
- ジビエ肉を安価に供給して欲しい。
- 広葉樹林の森林を増やし、人間と獣との住む場所を分けるようにする。特に、クマとサル。
- 人の入山の規制。里に降りてくる場合は学術専門家でなく、地元の熊猟師や畜産獣医師などに意見を求める。

6. 国有林野事業に対する総合意見

6-1. 国有林モニターとしての2年間の活動を通じて、森林に対する期待や考えに変化はありましたか。



6-2. その選択理由についてお聞かせください。

(主な意見)

- 治山や治水の取り組みを資料や現地学習で知ることができました。
- 森林の重要性を知り、できる限りのことはやっていきたいと感じている。
- 治山や間伐など森林管理について具体的に知ることができた。現地研修は大変勉強になった。
- 細かく植林を観察するようになった。木材製品の購入度合いが高まった。落ちていたゴミを拾うようになった。
- 森林の役割を考えるようになった。
- 国有林の現場を実際に案内していただき、具体的な事業を説明していただいたので。
- より身近になった。
- 2回の現地見学により、現場で働く職員の皆様の苦勞がわかり感動した。このような体験をもっと多くの人に持っていただければと思う。
- 知らないことを知ったり、より強く意識したりできるようになった。

6-3. 国有林野事業全般についての率直なご意見・ご提案をできるだけ具体的にお聞かせください。

(主な意見)

- 森林環境税について、多くの国民は理解していないと思います。いや、不満を持っています。これは、極めて勿体ない！
- 森林整備は百年単位の未来のために行っていると思う。未来の子孫の為に安全で美しい森林を残すために必要なこと、夢のあるしごとです。頑張ってもらいたい。
- 林野事業は短期で成果を求めることができず、目立たない存在。縁の下の力持ち的な存在。温暖化が進行する中、舵取りが今まで以上に難しくなると思いますが…国土保全の為力を緩めず邁進して下さい。
- 緑のオーナーの目減りを何とか還元してほしい。
- まだまだ宣伝が足りない。国の建物はすべて木造など、もっと進めていくべきではないか。
- 一般国民は国有林に対する知識を持ち合わせていません。もっと身近に国有林と接するようなイベント、子供たちに対する教育が必要ではないかと感じています。
- 木も人も動物たちも安全に暮らせるような森の管理をお願いしたいと思います。
- 営林行政では、地球環境的な規模では、国有林の重要性は漠然と理解できますが、森林を見ますと民有林と国有林に色が付いているでもなく、防災の為にダムはほとんど山の奥にあり、国有林野事業は身近に感じられない。税金を使っただけの公共事業ですので国民に理解してもらわなければならないので、もっと身近に感じるような周知の方法を検討して欲しい。
- 人工物と違い、自然物は復歸に時間が掛かる、変化には時間が掛かることから、活動に対する成果が出にくい、一般の方には感じられにくいため、取り組んでいる活動を広く認識してもらうことで存在意義を発信していく必要があると考える。
- 山奥で活躍されている職員の皆さんの様子をもっと世間に知ってもらうよう考えてもらいたい。水源の森の守り手としてとても信頼できるし災害対策など現場の努力も素晴らしかった。危険を伴う林業の高齢化、技術の担い手不足が心配。民有林など地域を巻き込み連携して整備していけるといいと思う。